



小中一貫教育目標

成長段階に合わせた
コミュニケーション
能力の育成

自分の思いを大切
にし、相手のことを
考えて伝える子

芹が谷中学校 学校教育目標

『認め合う心・高め合う心をもって 自分らしく生きる』

令和5年度 重点目標

たくましく、しなやかな心の育成

～粘り強く諦めない心・柔軟な心～

横浜教育
ビジョン2030

自ら学び
社会とつながり
ともに未来を
創る人

【具体的な学校の姿】

仲間と学び合い認め合い、高め
合せて、自ら深めていく力を
育む学校(知)

心身の健康に関心をもち、自他
の生命を尊重できる姿勢を育
む学校 (徳・体)

豊かな人間関係をつくり、社会
の一員として参画できる力を育
む学校 (公・開)

○生徒が主体となった委員会活
動・行事

- ★生徒が考え、創意工夫して取り組む
委員会活動や行事
- ・生徒同士の話し合い活動の充実
- ・ロイノートや chromebook を活用した
ICT 教育の充実
- ★生徒が自らの学習の振り返りができる
授業、長期休業や放課後の学習支援
活動・学習会の充実
- ★小中一貫して連携したあいさつ運動
等、生徒の主体的な取り組みの充実

○人権教育を基盤としたお互い
を認め合える学校づくり

- ★「生徒の話に傾聴する生徒指導」の徹
底と教育相談の充実
- ★コーチングの手法を取り入れた「生徒
の個性を理解し寄り添う生徒理解」
- ★自分の健康に興味をもち健康的に生
活する基本を身につける保健・食育教育
- ★授業のユニバーサルデザイン化・T
T・個別学習支援など特別支援教育の
視点にたった学校教育活動の推進

○家庭・地域・地域機関と連携し
た協働活動

- ★地域学校協働活動推進員(コーデ
ィネーター)を仲介とした地域の教育力
の活用
- ・専門性のある異業種従事者の活用
- ★防災拠点運営委員会と連携した防災
教育の実施
- ・学校評価を充実させ、PDCA の構築
- ★生徒が主体的に取り組む SDGs(持続
可能な社会の構築)の推進

重点目標達成のための具体的手立て

○人権教育を基盤とするための取組	(生徒) ・生徒個々の特性に応じた自己肯定感の伸長、粘り強く取り組む姿勢の育成 (教職員) ・生徒を理解し、いじめ・不登校への細やかな対応と適切な指導・声かけ	・YP アセスメントの活用や教育相談アンケートを活用した教育相談、SC・SSW と連携した丁寧な相談活動、特別支援教育支援員による学習支援、放課後の学習支援会の実施、特別支援教育の視点を生かした授業
○生徒活動を主体にした小中学校で連携した取組	(生徒) ・児童と生徒の交流による教育効果・肯定感の育成 (教職員) ・小中一貫した取組や研修の設定	小中交流日、地域・小中連携で取り組む「ふれあいコンサート」、地域連携あいさつ運動 廃油回収、小中授業研修会など
○学校周辺の地域環境を知り外部機関と積極的に協働する地域連携	(生徒) ・地域環境を知り、協働できることに積極的に参画する意識の育成、「共生」「協働」に高い意識を持てる力の育成 (教職員) ・専門家や有識者からの助言を生かす	年3回の校内授業研究会の実施 コーチングの職員基礎研修会 福祉講演会、国際理解教室、人権講演会 やまゆり園清掃ボランティア、地域ケアプラザ祭りの参加、平戸永谷川クリーンアップ清掃の参加、あいさつ運動、地域と連携した廃油回収

★ 研究テーマ

「知識及び技能の向上をめざして」

★実践取組★

- ・学び合い活動の充実、めあての分かる授業の確立・学校と家庭学習による基礎学習の充実
- ・研究テーマを基にした校内授業研究会
- ・保護者との丁寧な連携
- ・ICT を活用した学校と家庭の連携